

ロープ式エレベーター（マイコン制御）

点検項目		点検内容	周期A
1.機械室	a.機械室への通行	①機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認する。	1M
		②出入口扉の施錠の良否を確認する。	1M
	b.室内環境	①室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認する。	1M
		②室内又は制御盤内の温度の良否を点検する。	1M
		③手巻きハンドルの設置の有無を点検する。	1M
		④エレベーターに係る設備以外のものの有無を確認する。	3M
	c.主開閉器・受電盤・制御盤・起動盤・信号盤	①作動の良否を点検する。	1M
		②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1Y
		③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・電動機主回路 ・制御回路 ・信号回路 ・照明回路	1Y
		④主開閉器の操作及び作動の良否を点検する。	6M
		⑤電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	6M
		⑥制御盤内の清掃を実施する。	1Y
		⑦プリント板汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検する。	6M
	d.巻上機	①潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検する。	1M
		②歯当りの良否を点検する。	1Y
		③回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1Y
		④綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検する。	1Y
		⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y
	e.電磁ブレーキ	①スリップの異常の有無を点検する。	1M
		②ブレーキシュー、アーム及びブランチヤーの作動の良否を点検する。	6M
		③ブランチヤーストロークを点検し、その良否を確認する。	6M
		④ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検する。	6M
		⑤ブレーキライニングの摩耗の有無を点検する	1Y
⑥制動力をチェックし、その良否を確認する。		1Y	
f.らせ車	①ロープ溝の摩耗の有無及び取付け状態の良否を点検する。	1Y	
	②回転状態の異常の有無を点検する。	1M	
	③各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y	
g.電動機	①作動の良否を点検する。	1M	
	②異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検する。	1M	
	③電動機エンコーダ、パイロットゼネレータの作動の良否を点検する。	1M	
	④電動機用冷却ファンの作動の良否を点検する。	1M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y	
h.かご側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1Y	
	③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1Y	
	④エンコーダの作動の良否を点検する。	1M	
	⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y	
i.つり合いおもり側調速機	①異常音及び異常振動の有無を点検する。	1M	
	②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1Y	

点検項目		点検内容	周期A
		③過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認する。	1Y
		④エンコーダの作動の良否を点検する。	1M
		⑤各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y
	j.機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検する。	1Y
	k.主索の緩み検出装置	作動の良否を点検する。	1Y
	l.かご速度検出器	①取付け状態の良否を点検する。	6M
		②正しく機能していることを確認する。	6M
m.昇降路との貫通部分	主索及びガバナロープが機械室床の貫通部分と接触していないことを確認する。	1Y	
2.かご	a.運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検する。	1M
	b.かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび、腐食による劣化の有無を点検する。	1M
	c.かごの戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	3M
		②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1Y
		③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3M
	d.かごの戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	6M
		②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	6M
	e.かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1Y
	f.ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6M
		②摩耗及びさびの有無を点検する。	6M
	g.かごの戸のスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6M
		②作動の良否を点検する。	1M
	h.戸閉め安全装置	①戸の反転動作機能の良否を点検する。	1M
		②ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検する。	1Y
	i.かご操作盤	①作動の良否を点検する。	1M
		②取付け状態の良否を点検する。	1M
	j.かご内位置表示灯	球切れの有無を点検する。	1M
	k.外部への連絡装置	①呼出し及び通話の良否を点検する。	1M
		②装置の異常の有無を点検する。	1M
		③電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検する。	3M
	l.照明	①球切れ及びちらつきの有無を点検する。	1M
		②照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検する。	1M
	m.換気扇及びファン	①回転状態の作動の良否を点検する。	1M
		②ルーバーの汚れの有無を点検する。	1M
	n.停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1M
	o.注意銘板の表示	用途、積載質量(又は積載量)及び最大定員の表示の適否を点検する。	1M
	p.停電灯装置	①点灯状態の良否を点検する。	1M
		②基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認する。	1Y
	q.各階強制停止装置	作動の良否を点検する。	6M
	r.かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁(乗用又は寝台用のエレベーターに限る)との水平距離が規定値内にあることを確認する。	1Y
	s.光電装置	作動の良否を点検する。	1M
	t.側部救出口	施錠及びスイッチの作動の良否を点検する。	1Y
	u.専用操作盤【車いす兼用の場合に限る】	①取付け状態の良否を点検する。	1M
		②作動の良否を点検する。	1M

点検項目	点検内容	周期A	
v.鏡及び手すり【車いす兼用の場合に限る】	取付け状態の良否を点検する。	1M	
w.床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正することができることを確認する。	1M	
3.かごの周囲・昇降路	a.かごの上部の外観	汚れの有無を点検する。	1M
	b.非常救出口	①かご外部からの開閉の良否を点検する。 ②救出口スイッチを動作させた場合にエレベーターが停止することを確認する。	6M 6M
	c.戸の開閉装置	①戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検する。	1M
		②開閉機構の取付け状態の良否を点検する。	1Y
		③軸受の異常音及び異常温度の有無を点検する。	1Y
		④駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検する。	1Y
		⑤電動機コンモーター、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検する。	1Y
		⑥各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y
		⑦ギヤーオイル・グリースの漏れ及び劣化の状態を点検する。	1Y
		⑧各スイッチ接点の摩耗の有無を点検する。	1Y
		⑨制御抵抗管の状態を点検する。	1Y
	d.リタイアリングカム	取付け状態及び作動の良否並びに摩耗の有無を点検する。	6M
	e.かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検する。	6M
	f.かごつり車及びおもりのつり車	①回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検する。	1Y
		②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1Y
		③取付け状態の良否及びき裂の有無を点検する。	1Y
		④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y
	g.ガイドシュー又はローラーガイド	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検する。	1Y
	h.主索及び調速機ロープ	①摩耗及びさびの有無を点検する。	1Y
		②破断の有無を点検する。	1Y
		③取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検する。	1Y
		④すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検する。	6M
	i.ガイドレール及びブラケット	①取付け状態の良否を点検する。	1M
		②さび、変形及び摩耗の有無を点検する。	1Y
	j.はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ、戸が閉まらないことを確認する。	1Y
	k.つり合いおもり	取付け状態の良否を点検する。	6M
	l.つり合いおもりの非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1Y
②非常止め装置に異常のないことを確認する。		1Y	
m.上部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6M	
	②作動の良否を点検する。	6M	
n.誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検する。	1Y	
o.中間つなぎ箱及び配管	①ケーブルの取付け状態の良否を点検する。	1Y	
	②昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認する。	1Y	
p.着床装置	作動の良否を点検する。	1M	
q.給油器	①給油機能の状態を点検する。	6M	
	②油量の適否を点検する。	6M	
r.終端階強制減速装置	作動の良否を点検する。	1Y	
s.昇降路	①各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検する。	1Y	
	②エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検する。	6M	

点検項目		点検内容	周期A
		③昇降路の亀裂、損傷及び汚れの有無を点検する。	1Y
		④地震その他の振動でかごと及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1Y
4.乗場	a.乗場ボタン	①乗場呼びの作動の良否を点検する。	1M
		②取付け状態の良否を点検する。	1M
	b.位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検する。	1M
	c.非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認する。	1Y
	d.乗場の戸及び敷居	①ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検する。	6M
		②取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検する。	1Y
		③ビジョンガラスの汚れの有無を点検する。	3M
	e.ドアインターロックスイッチ	①作動の良否を点検する。	1M
		②取付け状態の良否を点検する。	6M
	f.ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認する。	6M
	g.乗場の戸ハンガーローラ	①取付け状態及び作動の良否を点検する。	1Y
		②ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認する。	1Y
	h.乗場の戸運動ロープ及びチェーン	運動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検する。	1Y
i.ドアレール	①取付け状態の良否を点検する。	6M	
	②摩耗及びさびの有無を点検する。	6M	
j.光電装置	作動の良否を点検する。	1M	
5.ピット	a.環境状況	①漏水の有無を点検する。	1M
		②汚れ及びエレベーターに係る設備以外のもの有無を点検する。	6M
	b.保守用停止スイッチ	作動の良否を点検する。	1Y
	c.非常止め装置	①取付け状態の良否を点検する。	1Y
		②非常止め装置に異常のないことを確認する。	1Y
	d.非常止めロープ	さび、振戻り、変形及、劣化の有無並びに巻取りの良否を点検する。	1Y
	e.緩衝器	①取付け状態の良否を点検する。	6M
		②スプリング又はプランジャーのさびの有無を点検する。	6M
		③油入式の場合は、作動油の油量の適否を点検する。	1Y
	f.ガバナロープ用及びその他の張り車	①走行中に、異常音の有無を確認する。	1M
		②ロープ溝の摩耗の有無を点検する。	1Y
		③ピット床面との隙間の適否を点検する。	1Y
		④各すべり軸受又は転がり軸受部への給油を実施する。	1Y
	g.移動ケーブル	①かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認する。	1Y
		②取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検する。	1Y
	h.下部ファイナルリミットスイッチ	①取付け状態の良否を点検する。	6M
②作動の良否を点検する。		6M	
i.つり合いロープ(鎖)及び取付部	取付け状態の良否及びさび、摩耗、破断、劣化の有無を点検する。	1Y	
j.つり合いおもり底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認する。	1Y	
k.タイダウンセーフティ	取付け状態の良否を点検する。	1Y	
l.耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認する。	1Y	
6.付加装置	a.中央監視盤	①表示灯の球切れの有無を点検する。	1M
		②スイッチの作動の良否を点検する。	1Y
		③連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認する。	1M

点検項目	点検内容	周期A	
b.地震時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
c.火災時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
d.自家発時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
e.停電時救出運転装置	①作動の良否を点検する。	1Y	
	②バッテリー液に不足がないことを確認する。	3M	
f.ピット冠水時管制運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
g.閉じ込め時リスタート運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
h.長尺物振れ管制運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
i.緊急地震速報連動運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
j.自動診断仮復旧運転装置	作動の良否を点検する。	1Y	
k.オートアナウンス装置	作動の良否を点検する。	1M	
l.遠隔監視装置	作動の良否を点検する。	1Y	
m.超音波ドアセフティ	作動の良否を点検する。	1M	
n.マルチビームドアセフティ	作動の良否を点検する。	1M	
o.乗場戸遮煙構造	遮煙構造の機能を確認する。	1Y	
p.戸開走行保護装置	戸開走行保護装置(UCMP)の点検をする。	1Y	
7.群管理運転装置	a.運行状態	運行の異常の有無を点検する。	1Y
b.制御盤及び信号盤	①作動の良否を点検する。	1M	
	②端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検する。	1Y	
	③次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・制御回路 ・信号回路	1Y	
	④電磁接触器の接点摩耗の有無を点検する。	1Y	
	⑤制御盤内の清掃を実施する。	1Y	
	⑥冷却ファンの回転の良否を点検する。	1Y	
	⑦管理時計の作動の良否を点検する。	1Y	